



まちづくりNEWS

第3号
令和5年1月発行

●名鉄刈谷市駅前地区まちづくり協議会 全体会を開催しました



令和4年度第2回全体会の様子

12月20日(火) 17:30から中部市民館にて令和4年度第2回全体会を開催しました。22名の権利者及び地区長の皆様にご参加いただきました。

全体会では、各街区の進捗状況について報告を行いました。また、刈谷市より刈谷市駅前地区まちづくりプラン(案)の提案をいただいたほか、民間再開発に合わせた駅前広場及び周辺道路の整備の計画について説明していただきました。

1. 各街区の進捗状況について

●主な内容

A街区は、地権者からの合意書の押印がそろい、来年度に建築設計、令和6年度より工事着工、令和8年度事業完成を目指している旨を説明しました。



※今後、計画は変更になる可能性があります。

階	用途	摘要
2~19階	住宅	約100戸 駐車場約140台
1階	店舗	

2. 刈谷市駅利用者アンケート調査結果について

●アンケート調査の目的
刈谷市駅周辺のまちづくりの方向性について検討するため

※詳細については、令和5年3月末市HPにて公表予定

- アンケート調査の内容
- ・回答者の属性(年齢・職業・居住地)
 - ・駅の利用状況(利用頻度・利用目的・移動手段)
 - ・駅前広場と駐輪場の利用(使いやすさ等)
 - ・駅周辺の整備方針やまちづくりのデザインコンセプト
 - ・駅周辺にあったらいい、あり続けてほしい、充実してほしい施設や機能 など

調査対象	配布数	回収数	回収率	
刈谷市駅利用者(平日)	800通	325通	33%	42%
刈谷市駅利用者(休日)	200通			
刈谷市駅周辺居住者(無作為抽出)	1,000通	517通	52%	
刈谷高校・刈谷北高校生徒	-	240通	-	-
合計		1,082通		

問：まちづくりの基本方針に加えて整備方針やデザインコンセプトの中心に据えるべきと考えるもの

■アンケート結果上位3つ

- 1 歩行者にやさしく回遊性のあるまちづくり (517票)
- 2 名鉄高架下や沿道の民地を活かしたにぎわいあるまちづくり (504票)
- 3 緑豊かなまちづくり (301票)

問：アンケート結果からの駅周辺にあったらいい、あり続けてほしい、充実してほしい施設や機能

■アンケート結果 200票以上

順位	施設	票数	カテゴリ
1	トイレ	452票	公共的空間
2	スーパー	446票	飲食・物販施設
3	カフェ・喫茶店	441票	飲食・物販施設
4	街灯	436票	その他
5	コンビニ	426票	飲食・物販施設
6	雨よけ・日よけ	387票	その他
7	ATM	369票	サービス
8	ベンチ	312票	その他
9	駅前停車スペース	273票	公共的空間
10	パン屋	269票	飲食・物販施設
11	ファストフード店	261票	飲食・物販施設
12	レストラン	259票	飲食・物販施設
13	バス・タクシー待合所	239票	公共的空間
14	百円ショップ	224票	飲食・物販施設
15	銭湯	212票	娯楽・スポーツ施設
16	クリニック	207票	社会福祉・教育

● 高校生で100票以上の施設 ※この他に自習室、カラオケも100票以上

名鉄刈谷市駅前地区まちづくり協議会

3. 刈谷市駅前地区まちづくりプラン(案)について (抜粋)

地区全体の調和のとれた再開発を実現するために作成する「まちづくりプラン」について、刈谷市より街並み・空間イメージ案(下図)の提案をいただきました。今後、まちづくり協議会の意見を反映し、策定に向けて検討してまいります。

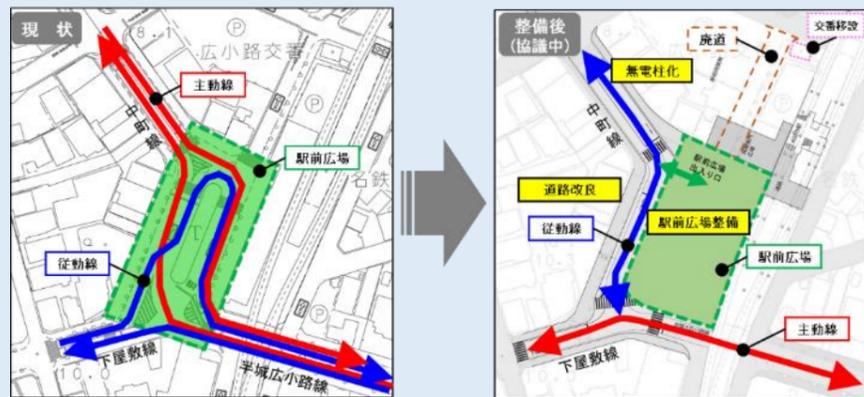
【上位計画：市街地総合再生基本計画】

- 施策①：地域住民や来訪者の利便性を向上させる施設の整備や地域のにぎわいの基となるまちなか居住を推進する住宅の整備を目指します
- 施策②：駅及び駅周辺施設利用者のための駐車場を整備します
- 施策③：円滑な交通形態への改善を図るため道路の整備を進め、駅前エリア及び銀座エリアまで連続性のあるまちなみの形成を目指します
- 施策④：交通結節点としての機能強化を行い、駅利用者等の利便性と安全性の向上を図ります
- 施策⑤：歴史文化交流ゾーンの玄関口として、既存の寺院や公園を活かした空間や景観づくりを目指します
- 施策⑥：老朽建築物の更新を進め、防災性の向上を図ります



4. 民間再開発に合わせた駅前広場及び周辺道路の整備について

刈谷市駅前地区の一体的なまちづくりを推進するため、街区毎の民間再開発事業の進捗に合わせ、愛知県と協力し、駅前広場及び周辺道路の整備を進めるとの説明がありました。



【設計方針】

- ・下屋敷線を主動線、中町線を従動線とする。
⇒通過車両は下屋敷線を通し、中町線は、無電柱化や歩道の段差解消等を行い、歩行者中心の道路とする。

5. その他 (協議会での質疑事項)

質問：まちづくりプランについて、まちなか居住を目指し人口を増やすことににぎわいを取り戻すことのどちらを目的としているのか。

回答：どちらも重要な目的であり、来客者数を増やすことは難しいと思いますが、自然発生的な集客ができる策が望ましいと考えています。そのために周辺環境を踏まえてどのように利用されるかを検討することで賑わいの創出につながると考えています。

質問：A街区の構想案について、駐車場は足りる設定となっているか。

回答：現時点では1戸当たり1台程度の台数を想定しています。駅近であることや入居テナントにより想定台数が変化するため、適宜相談しながら計画を進めたいと考えています。

本ニュース・活動に関するご質問、ご意見などございましたら、下記までご連絡ください。

《問い合わせ先》

●名鉄刈谷市駅前地区まちづくり協議会 理事長 伊藤節夫(ジュエリー伊藤)
TEL: 0566-21-3124

●名鉄刈谷市駅前地区まちづくり協議会 事務局 (株)URリンケージ
事業計画部 事業計画課 担当: 鶴飼、渡辺 TEL: 052-957-1260